

【北海道】留萌川重要水防箇所合同巡視を行いました

- 留萌市、北海道及び国等からなる「留萌川減災対策協議会」で検討された減災に関する取り組み方針に基づき、留萌川の重要水防箇所について、留萌建設管理部、留萌市及び留萌消防組合との合同巡視を行いました。
- 重要水防箇所の合同巡視は、関係機関との密接な連携を図るために行う取組の一つで、洪水時に迅速かつ的確な水防活動を行い、流域住民の安全を確保できるよう、出水期前や洪水経過後に合同で実施しています。
- 参加された方から、「合同で重要水防箇所を巡視し、洪水時に特に注意の必要な箇所を事前に確認することにより、平時における防災意識の向上を図ることが出来た」との感想がありました。

平成29年度留萌川重要水防箇所合同巡視 概要

目的：関係機関との密接な連携を図り、洪水時に迅速かつ的確な水防活動を行うため、流域住民の安全を確保できるよう合同で実施する。

実施日：平成29年6月30日（金）

実施場所：留萌川

（東雲排水機場、大和田遊水地ほか）

主催：留萌開発建設部

参加機関：留萌建設管理部、留萌市、留萌消防組合

参加人数：14名

実施内容：①危険箇所について位置等の確認を行う。②水防資材について、備蓄量・保管場所の確認を行う。③ダム、遊水地、排水機場等の重要な河川管理施設の構造と仕組みを理解する。④関係防災機関同士のコミュニケーションを図る。



平成29年度留萌川重要水防箇所合同巡視 実施状況



合同巡視 実施状況



ポンプパッケージの確認



大和田遊水地の構造と仕組みについて理解を深める



留萌川KP11.6右岸 危険箇所の確認